

共栄児童館 事業評価表

※事業区分「1」・・・仕様書事業 事業区分「2」・・・自主事業(企画事業)

項目	事業 区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 H28	平成28年度の参加人数					実施 回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H28 年度	H29 年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を 対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・すくすくクラブ	月2回程度	10	13	14	16	100	1	0	108	209	16	142	0	0	141	283	・0歳児のクラブでは、親子のコミュニケーションを大切に考えた。その手段として、日常のふとした時にできるように「ぞうさん」の歌に合わせてベビーマッサージを行った。歌詞を子どもの名に変えて歌う、最後はぎゅっと抱きしめるなどの直接的な愛情表現を入れる工夫をした。後期後半になると、「ぞうさんを始めるよ」と言うと、みんな嬉しそうだった。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・ちびっこクラブ	月2回程度	10			16	216	2	0	220	438	16	89	0	0	91	180	・地域の1歳児が少なくなったが、クラブの雰囲気はとてもよく、母親同士も意気投合して、クラブ後は毎回長時間遊んでいった。。後期になると成長も著しく、体を思い切り動かしたいという要望から、トランポリンやサーキットあそびなど家でできないことを中心に行った。体を動かすと、引っ込み思案で母親の後ろから出られない子が、元気いっぱい笑う姿になっていった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・ちびっこクラブ ・キンダークラブ	月2回程度	10			29	166	0	0	154	320	28	402	4	0	368	774	・自我が芽生え、自分の好きなことをやりたい2歳児に対して、少しでも長く集中できるように様々な工夫をした。ちびっこクラブでは、館庭で「色水遊び」や「砂場遊び」、遊戯室を町に見立てた「共栄タウンで遊ぼう」など、毎回子ども達の好奇心を刺激するよう考えた。キンダークラブでは母親達のニーズに応え、段ボール迷路、大きな坂での遊びなど、発達にあわせたダイナミックな仕掛けの物を用意した。
	小 計					61	482	3	0	482	967	60	633	4	0	600	1237		
	2	④ 自主事業 ・英語であそぼう、リトミック ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・季節に合わせた行事 きりん七夕会、水遊び お月見会 ハッピーハロウィン きららクリスマス会 ぱらっぱまめまき会 ふわりんひなまつり会 ・おかいものごっこ	随時		14	13	62	650	4	0	620	1274	52	572	0	0	531	1103	・英語であそぼう、リトミックの他、健康推進委員協力のおさんぽクラブが定着し、参加人数も増えた。近くは小名田町の「円茶寮」を見学させていただき、地域と来館者を結びつけた。また潮見の森公園まで足を伸ばし、多治見市の絶景を見た。 ・季節行事は、ほぼ毎月実施。子どもの目線で考えたゲームや仕掛け、母親が思い出の写真を撮ることができるように、行事に合わせた飾り付け、衣装などを用意した。回数を重ねるうちに、他の校区の方も集まるようになり、定員以上の参加者の行事もあった。
小 計					62	650	4	0	620	1274	52	572	0	0	531	1103			

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H28年度	H29年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2回程度	6	13	12	22	0	286	0	2	288	20	2	278	0	3	283	・一輪車クラブは1、2年生が多く、まとめ上げるのに苦労したが、公の場での演技披露が近づくに集中できる姿に職員が驚かされ、がんばる姿を大いに褒めた。 ・子どもスタッフは、28年度のクラブ員がほぼ6年生で構成されていたこともあり、29年度は少人数で活動することになった。子ども達も不安があったと思うが、それゆえにまとまりができた。保育園や施設で喜んでもらえるものを子ども達と話し合った。大正琴を提案すると子ども達も喜び、練習に励んだ。20区、21区の敬老会で披露し、それを見てくださった方が施設で話し、30年度の施設訪問の依頼が来る程好評だった。 ・チャレンジキッズでは、福祉体験として指文字を覚えた。職員で手話をカルタ仕立てにし、遊びながら学習に繋げたので、子ども達は驚くほど早くマスターした。手話カルタは相応にうまくできたので、他でも活用していきたい。
		子どもスタッフクラブ	月2回程度	6			22	70	149	0	112	331	18	28	64	0	116	208	
		チャレンジキッズ	月1回	6			11	7	160	0	16	183	10	0	128	0	0	128	
		② ボランティア活動	月1回程度				20	0	44	4	0	48	17	0	39	1	0	40	
	小 計						75	77	639	4	130	850	65	30	509	1	119	659	
	2	③ 自主事業 ・チャレンジ番付(毎月) ・新1年生あつまれ ・作陶体験 ・一輪車クラブ交流会 ・子どもスタッフまつり ・季節に合わせた行事 ワンダーデイキャンプ 科学工作 小学生水遊び 小学生ハロウィンパーティ クリスマス会、節分会	随時		14	12	53	77	528	10	140	755	35	13	350	5	61	429	・年間様々な事業に取り組んだが、特に夏休みはデイキャンプを初めとして、作陶体験、水遊びなど中学生や地域の方々の協力を得て大いに盛り上げることができた。また地域の木工工場から寄付をいただき、無料で木工工作体験を行った。子ども達の自由な発想に応えようと四苦八苦するボランティアの方々の姿に感謝でいっぱいになった。 その他に、ハロウィンはまちづくり市民会議、まめまき会は地域の商店など、多くの機関に支えられ実施する事ができた。
		小 計					53	77	528	10	140	755	35	13	350	5	61	429	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H28年度	H29年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり 「えんじょい！ わっしょい！ じどうかんまつり」	10月28日	1			1	65	84	2	87	238	1	28	65	3	71	167	・雨のため前年より参加者は減ったが賑やかに行うことができた。あまり知られていない江戸文化を見せてあげたいと、恵那市から「南京玉すだれ」を福祉施設等で披露している方を招いた。軽快な口上、陽気に手拍子を誘う演技の鑑賞は、子ども達は元より、親も初めて見るという人が多かった。体験コーナーもあり、日本文化に触れる機会を作ることができた。
		② 移動児童館 高田焼きまつり 20区夏祭り 共栄文化祭	4月2日 7月11日 11月26日		13	14	2	49	155	12	54	270	3	74	199	1	82	356	・例年『高田焼きまつり』は、一輪車のみでの出演だったが、今年度は移動児童館として工作コーナーでも参加。華やかな店が連なる中での一角だったが、子どもや顔見知りの方にたくさん声をかけていただき、地域と共にある児童館を位置づける良い機会になった。また、高田焼き工業組合の方とも繋がりが持て、父の日のプレゼント作りに協力を得ることができた。
	小 計						3	114	239	14	141	508	4	102	264	4	153	523	
	2	③ 自主事業 ・カブトムシの幼虫を育ててみよう ・カブトムシ K-1グランプリ ・さつま芋の苗植え、芋ほり ・ガサガサ探検隊 ・母、父、敬老の日のプレゼント作り ・支援児遊びの広場 ・花もち作り ・凧作り ・読書の日 ・本とお友達になるための三日間	随時		14	13	26	138	287	15	247	687	33	105	147	15	139	406	・29年度も自然豊かな地域の特性を活かした事業を実施。カブトムシK-1グランプリ等で小学生がはつらつと遊ぶ姿を多世代の方々に見てもらい、地域ぐるみで子育てしていく大切さを再認識して頂いた。又、29年度は幼児小学生以外にも本を手にとってもらいたいと、8月と2月に読書に関する事業を実施。2月は「本とお友達になるための三日間」として図書館に協力を依頼し、沢山の本の陳列ができた。工作や読み聞かせなどもおりませ、参加しやすい事業にした。今後も継続的に事業として取り入れたい。
	小 計						26	138	287	15	247	687	33	105	147	15	139	406	
中高生事業	1	① 中学生ボランティア ・カブトムシ幼虫を育てよう ・カブトムシK-1グランプリ ・デイクャンプ ・ガサガサ探検隊 ・幼児水遊び ・児童館まつり ・共栄文化祭	随時	3	13	13	8	0	4	40	0	44	9	0	8	56	0	64	・多くの行事でボランティアが活躍し、高田川が「ガサガサ」探検に参加してくれた中学生は先頭に立って危険な箇所を確認し丁寧に誘導する等、頼もしい姿だった。カブトムシ関連の行事やデイクャンプでは、幼児や低学年を優しく導き、自分達で考えたより良い方法の提案があった。共栄文化祭では共同募金活動で、多くの方と笑顔で対応し、地域社会への参加の第一歩となったと思う。
	小 計						8	0	4	40	0	44	9	0	8	56	0	64	
	2	② 自主事業 ・プレバパ・プレママ体験 ・宿題をしよう ・中学生卓球	随時		13	12	4	1	5	13	1	20	3	0	0	11	0	11	・プレママ体験当日が、警報発令による閉館で中止となったが、次世代の子育て支援として、大切な企画と思い、延期して実施。初めて参加する子ばかりで、特に妊婦の大変さを口にしていたが将来への不安材料とならないように、保健師と共に出産、育児の素晴らしさを話した。
	小 計						4	1	5	13	1	20	3	0	0	11	0	11	

項目	事業区分	実施日・事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 H28	平成28年度の参加人数					実施回数 H29	平成29年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					H28 年度	H29 年度		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計		乳幼児	小学生	中学生	大人	合計	
子育てネットワークづくりの推進	1	① 子育て相談 ・子育て相談日	月1回	12	14	13	12	14	0	0	14	28	12	3	0	0	2	5	・当日の相談は少なかった。しかし「子育て相談日」を事業として掲げたからこそ、別日にはあるが様々な相談を受けた。中には夫婦間の深刻なものもあり、市や社会福祉協議会の相談場所も紹介したが、一番必要としているのは話を聞く相手だと察知し、傾聴に徹した。その他、子育ての様々な面で「うまくいかない」と悩む母親が多かった。「子育てがうまくいく」の意味を一緒に考え、母親の気持ちに寄り添い、励ました。
		② 講習・講演・他連携 ・わんぱくまつり ・赤い羽根配分金事業 「くす田博士のサイエンスヨー」 「体操のお兄さんとあそぼう！」 ・歳末助け合い募金 「たじみ将棋まつり」	4月16日 5月27日 12月2日 3月13日	2			5	182	80	4	215	481	4	27	30	1	41	99	・配分金事業として、大きな講習、講演が行われたが、共栄児童館では毎回多くの参加があった。特に将棋まつりに参加した小学生は、より興味が増したようで、来る度に技が増え、職員を驚かせていた。
		② 母親クラブ ・共栄母親クラブ	月1回程度				10	85	0	0	82	167	12	117	0	0	123	240	・29年度、母親クラブが発足し、地域の老人施設訪問、幼児室の玩具清掃、新規事業「新米ママたいむ」への参加、児童館事業準備等積極的に活動。中でも施設訪問はとても喜ばれ、30年度も依頼が来ている。会員数も増え、30年度も引き続き活動していく。
	小 計						27	281	80	4	311	676	28	147	30	1	166	344	
	2	③ 自主事業 ・新米ママたいむ	月1回程度			13	0	0	0	0	0	0	10	73	1	0	75	149	・29年度より親育ち4363関連事業として、保健師の協力を得て月に1回、初産婦や出産したての母親を対象とした「新米ママたいむ」を実施。ベビーマッサージ、離乳食、読み聞かせの他、母親クラブに協力を依頼し、初めて子育てした時の苦労や気が減った時の乗り越え方、母乳についてなど、様々な話をしてもらった。参加した母親の「ここに来ると心が軽くなる」の一言に深い達成感を感じた。
	小 計						0	0	0	0	0	0	10	73	1	0	75	149	